

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272000324		
法人名	社会福祉法人徳寿福祉会		
事業所名	社会福祉法人徳寿福祉会陽だまりの家ひまわり		
所在地 (電話番号)	〒039-3332 青森県東津軽郡平内町清水川字権十郎新田8番 (電話) 017-755-5744		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 9月 18日	評価確定日	平成 20年 10月 17日

【情報提供票より】(平成20年8月26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 10月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	16人, 非常勤 1人, 常勤換算 15.88人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	9,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(8月26日現在)

利用者人数	17 名	男性	5 名	女性	12 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名		
要介護3	6 名	要介護4	5 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.8 歳	最低	70 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ひきち内科クリニック、平内中央病院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>玄関の花壇には、綺麗に整備された色とりどりの花が咲いており、利用者が散歩の際眺めたり、来訪する家族やお客様をもてなす雰囲気にあふれている。また、ホーム内も中庭からもれる陽光がまぶしく園内も明るい雰囲気である。居室にも個人の写真が飾ってあったり、さりげなく装飾品が置いてあったりと住みやすい空間をさりげなく演出している。</p> <p>利用者の表情も生き生きとしてレクリエーションや音楽療法などを積極的に行っており活気がある。職員も理念に沿い利用者のペースに合わせた介護を提供しており、ゆっくりとした時間が施設に流れている。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価では、鍵をかけないケアの実践と、食事を楽しむことのできる支援という2点の課題があったが、話し合いの場を持ち意見、議論を重ね現在はその2点は解決しており、日中は鍵をかけずに過ごし、食事毎食ではないが職員と利用者が一緒に食事ができる体制になっている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者が主体となり、リーダー、主任も加わり今回の自己評価を作成している。作成してみるにより新たな気づきや改善点などがあげられ、問題になった事項についてはきちんと話し合いが持たれている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>メンバーは、管理者、施設職員、町内会長、民生委員、市町村職員である。前回会議では避難訓練について話し合わせ、地域の協力を得られるような体制作り等の意見交換を行っている。その他には、グループホームに関しての内容や認知症の主な症状、第三者評価の報告等が話し合われている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族からの苦情や要望は、直接職員に話せるような働きかけや声掛けをおこない、話しやすい環境を作っている。苦情があった場合にはきちんと対応できるような体制を整えている。ただ、現在までに主だった苦情は出でならず、積極的に意見交換し小さな苦情や意見、要望などを聞き入れることにより、よりよい施設にできるように心がけていくことに期待したい。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>1ヶ月に1度回覧板にて陽だまり通信という広報誌を回覧しており地域で認知されている。近隣の住民から野菜の差し入れがあったり、施設で交流会を行ったりしている。また、こちらから小学校の運動会に見学に行ったり、幼稚園とのふれあい交流も盛んに行われたりしている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念が明確に示されており、その理念を大事にしている。しかし地域との調和や交流に関する活動を積極的に行っているにもかかわらず、理念の中に地域密着型サービスについて明文化されていない。		地域密着型サービスとしての理念や目標について職員間で話し合いできる機会を作ることを期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員一人ひとりがきちんと理解をしている。月に1度のカンファレンスの機会や会議の場などにおいても理念について話し合いの場が持たれている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近隣の住民から野菜の差し入れがあったり施設の交流会などを通して近隣の住民との交流がある。また、町内の敬老会に参加したり、小学校の運動会やふるさと交流会といった行事にも参加、見学したりしている。幼稚園との日常的なふれあいも盛んに行われている。1ヶ月に1度回覧板にて広報誌「陽だまり通信」を回覧しており地域の認知度はある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員はしっかりと評価の意義を話し合い理解しており、改善へ向けての前向きな姿勢がみられている。前回評価からの話し合いが持たれており、改善もしている。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前回会議では避難訓練についての話し合いが行われており地域の協力を得られるような体制作り等の意見交換を行っている。議事録も誰が見てもわかるようにきちんとまとめられている。		家族参加が無いので今後参加を促してみるのはいかがでしょうか。また会議の開催が半年に1度なので2ヶ月に一度の開催を期待します。
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の担当者とは密に情報交換を行っており連携をはかっている。月1度は地域の事業所や行政等も集まる会議へ出席し、そこでも情報の共有が行われている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は制度についての研修を受けており、職員も勉強する機会を持っている。支援が必要な利用者には行政と協力しながら支援を継続している。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員間での勉強会は特に行っていないが、管理者は虐待について日々のケアのなかで具体的な指導を行っている。夜勤2人体制により虐待の発生防止に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の内容や料金、退居時についての説明はもちろんのこと不安に思ったことについても管理者が、入所者や家族に十分な説明を行い理解・納得してもらっている。		
10	12	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、各利用者家族に向けて利用者個人の生活を写真で綴った陽だまり通信というお手紙を出して報告をおこなっている。病院受診時や状態変化時にも電話にて連絡しておりケアプランの内容報告などの際にも報告をおこなっている。また、なかなか面会に来られない家族の方には電話にて近況報告も行っている。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの苦情や要望は、主に直接職員に話せるような働きかけや声掛けをおこなっている。苦情があった場合にはきちんと対応し管理できるような体制は整えている。		現在までに主だった苦情は出ておらず、積極的に意見交換し小さな苦情や意見、要望などを聞き入れることにより、よりよい施設にできるように心がけていくことに期待します。
12	16	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や退職はあまり無いが、あった場合は利用者や家族への影響が出ないよう最低1カ月間の引き継ぎの期間を設け、十分に配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修会に参加し、報告会も行い情報の共有化がなされている。内部研修も月に1度は行われている。また、新入職員の研修も行われている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は月に1度ケアマネ会議に出席した際に他事業所との情報交換を行っている。また外部の研修会に参加した際にも他事業所との交流を持つよう心がけている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前訪問で利用者、家族と面会を何度か持ち、入居してからの精神的な不安を最小限にするような配慮を行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	時間にゆとりを持ちながら、お互いに会話でのコミュニケーションをとり共に生活している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>担当職員の細やかな気づきを元に会話の中から一人ひとりの思いを聞き出し、希望や意向の把握に努めている。家族とのさりげない会話の中から情報を引き出したりもしている。また、ケアプランへの反映もされている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画作成にあたり、本人や家族から要望を聞き介護計画を作成している。3ヶ月に1度のカンファレンスのメンバーは看護師、ケアマネ、介護福祉士、ケース担当で構成されており、それぞれの立場からの話し合いが持たれている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>体調変化時、退院時には都度介護計画の見直しがされている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>居室が開いている場合にはショートステイを活用していただけるよう居宅との連携を密にとっている。また、認知症の相談窓口として活用していただけるように呼びかけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医への定期的な受診を行っている。また、日頃から協力医との連携もとれており、日、祭日等の急変時の受診もできている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事前に家族・本人の意向を確認しており重度化や終末期に向けて話し合っている。状態変化時には都度話し合いがもたれており、職員同士でも情報を共有し同じ対応が出来るようにしている。急変時マニュアルもあり、支援体制も整えてある。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報や記録管理についてはもちろんプライバシーの管理も行っている。日々のケアについても職員間で注意しあい、プライバシーの確保に努めている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に利用者のペースに合わせることを念頭に置きながら、希望にそった生活ができるように支援することを心がけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方の能力に合わせてテーブル拭きや食事準備など役割分担があり、利用者の方も楽しみながら食事準備を行っている。また、園庭の畑の野菜を収穫しておかずをしたり、季節毎のメニューを作成したりと食事を楽しめるような配慮も十分なされている。毎食ではないが職員と利用者と一緒に楽しく食事をしている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	現在、利用者の入浴は1日を通して行っている。希望があった場合は利用者の意向を尊重して入浴できるような体制は整えている。また、足浴する機会も設けている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事作業、清掃作業等の役割があり、散歩やゴミ出しを日常的に行っている方もいる。また、気晴らしの支援に関しては、天気を見て外出やドライブ等に出かけたりしている。月に2回外部から音楽療法の講師を招いたり、月に1度の誕生会にあわせて季節の行事を行ったりしている。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望にて買い物支援や、ドライブ等を行っている。気分転換に散歩などの外出支援も日常におこなわれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	管理者は、身体拘束に関して正しく理解されており、日常業務の中で職員へ指導している。職員は身体拘束のないケアに取り組んでいる。マニュアルも整備してある。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者・職員は鍵をかけることに対する弊害を十分に理解しており、現在日中は施錠をしていない。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	3ヶ月に1度の割合で内部での避難訓練を行い、年1回の消防立会いの避難訓練では消火訓練も行っている。記録もきちんとされており災害に対する意識も職員間で共有している。運営推進会議の場で緊急時の連絡網について話し合いも持たれている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量をチェック表に記入しており、夜間帯への引継ぎもきちんと行われている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防に関してのマニュアルがあり予防に努めている。また職員もきちんと感染症に関しての理解がある。施設内の消毒や殺菌もきちんと薬品を使って対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
		居心地のよい共用空間づくり			
34	78	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には綺麗に整備された花壇があり来訪者をやさしく迎え入れるような配慮がされている。ホーム内も中庭からの陽光が入り明るい空間である。2ユニットあるがユニット間の区切りが無く自由に行き来できる空間があり、廊下も広く利用者が歩きやすそうである。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活しやすい環境を第一に考えており、個人に合わせて過ごし易いように工夫されている。居室には家族や利用者の写真が飾ってあったり馴染みの物を持ち込んだりと居心地良い空間となっている。		

 は、重点項目。